



令和4年8月18日  
No.101

# 社協だより



## \* 大田小学校「町の中のやさしさ」についての学習に参加しました! \*



今回の福祉学習のテーマは、「町の中のやさしさを見つけよう」となっており、6月20日は「町の中のやさしさ」に関する学習とユニバーサルスポーツであるボッチャを行いました。

授業では、身体障がい者等用駐車場・思いやり駐車場や視覚障がい者の方へ音声によりお知らせする信号機（音響式信号機）などについて学び、地域の中にある身近なものが様々な人の役に立っていることを知ってもらう機会となりました。

ボッチャ体験では、大田市身体障がい者福祉協会より2名の方にご協力をいただき、ボッチャが年齢や性別、障がいの有無に関わらず、皆で一緒になって楽しむことができるスポーツであることを知り、児童の皆さんからは「ボッチャは誰に対してもやさしいスポーツだと知りました」「もっとボッチャを楽しみたい」などの感想をいただきました。

6月27日、29日は、高齢者についての理解を深める学習として、「年をとること」の意味について講話をした他、実際に特殊メガネなどの疑似体験装具を身につけ、年をとることによる身体的な変化を知る体験をしてもらいました。

今回の学習をとおして、児童の皆さんが「やさしさ」について学び、理解を深めたことで、この町に住む私たち一人ひとりが地域を支えていく一員なんだ、という意識を持っていただけたと感じました。



## あいサポート研修を実施しました



7月9日、サンベ電気株式会社職員の方を対象に、あいサポート研修を実施しました。あいサポート運動とは、平成21年に鳥取県で創設され、様々な障がいの特性や当事者の方への必要な配慮を理解・実践し、誰もが暮らしやすい社会を作っていく運動です。

研修では、あいサポート運動及び障害者基本法における障がいの定義・社会的障壁についての説明やDVD視聴により、各種障がいについて理解を深めました。

今後は、地域の企業の皆さんにご協力をいただくことで、福祉の新たな形をめざしていきたいと考えています。

誰もが暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現を目指し、「あいサポート運動」の普及に積極的に取り組んでいきます。



大田市社協HP QRコード

発行 社会福祉法人 大田市社会福祉協議会 大田市大田町大田イ128  
本所(0854)82-0091・温泉津支所(0855)65-3950・仁摩支所(0854)88-4421  
<http://www.ohda-shakyo.jp>



大田市社協 Fb QRコード

令和  
3年度

# 社会福祉法人 大田市社会福祉協議会 事業報告

## 【事業の概要と総括】

新型コロナウイルス感染症は、新たな変異株の出現などにより、感染拡大の波は繰り返され、なかなか終息の見通しはたつていません。感染予防対策の徹底により、ウィズコロナ時代における新しい生活様式が定着しつつあります。このような中において、コロナ禍で生じた「生きづらさ」を抱えた人々の地域での孤立化が新たな社会問題として認識されています。本会では、令和3年度から「第3次大田市地域福祉計画・大田市地域福祉活動計画」に基づいた地域共生社会の実現に向けた包括的な総合相談体制の構築など重層的な支援体制の整備に取り組みました。地域福祉支え合い推進事業では、生活課題の解決へ向け、分野を超えた支援関係機関のつながりづくりを目指した多機関協働事業や制度の狭間の問題に対応するための新たな居場所づくりの創出などの参加支援事業を実施しました。さらにコミュニケーションソーシャルワーカーを配置し、様々な「生きづらさ」を抱える人々と関わり続けるアウトリーチ等を通じた継続的支援事業に取り組み、個別支援と地域をむすび、地域住民同士が

助けられたり助けたりできるような地域づくりを推進しました。生活サポートセンターおだでは、生活困窮世帯の相談を受けながら、その対応策を検討するための支援調整会議を月1回開催し、家計改善支援事業、就労準備支援事業、一時生活支援事業などによる支援計画を立て、計画に基づいた伴走型支援を行いました。また生活福祉資金の特例貸付によりコロナ禍で収入減少となった世帯への支援に引き続き取り組みました。権利擁護の推進では、日常生活自立支援事業や法人後見事業により、日常生活に不安を抱える人々、判断能力の不十分な人々の支援を行いました。大田市成年後見支援センター事業では、市民後見人養成講座の開催や中核機関として家庭裁判所との意見交換会などに取り組みました。生活支援体制整備事業、地域介護予防活動支援事業では、22地区において高齢者の通いの場づくりに取り組みされているほか、地区社協をはじめとしたサロンなど、住み慣れた地域の中で住民主体の支えあいや介護予防の取り組みが行われました。

以上、令和3年度事業計画のもと、地区社会福祉協議会・自治会をはじめ民生児童委員協議会、各関係機関・団体のご協力をいただきながら各種事業を実施いたしました。

## 【法人経営】

- ◇理事会 4回
- ◇評議員会 3回
- ◇監査 1回
- ◇評議員選任・解任委員会 1回
- ◇第三者委員への苦情、相談 0件
- ◇中四国都市社協連絡協議会への  
参加
- ◇大田老人福祉センター管理運営  
事業
- ・利用団体数 687団体
- ・利用者数 11,587人

## 【実施事業】

### 基本方針1

人づくり・地域づくりの推進

- (1) 交流と参加による福祉教育・学習の推進

- ◇福祉教育推進事業  
（小学校）
- ・実施校 8校（9回実施）
- ・対象者 185名

- 〈中学校〉
- ・実施校 2校（7回実施）
- ・対象者 495名
- 〈高校〉
- ・実施校 2校（4回実施）
- ・対象者 145名

- ◇あいサポート運動
- ・受講者 356名
- ◇地区社協活動支援事業
- ・申請地区 27地区
- ◇レクリエーション用具等貸出事業
- ・福祉体験学習用品（疑似体験等）貸出し／5件（学校、地域  
自主防災会）
- ・軽スポーツ・レクリエーション  
用具貸出し／243件
- ・機材等の貸出し／74件
- (2) 支えあい意識の啓発とボランティアの育成・参加促進
- ◇ボランティア・市民活動センター  
の運営
- ・食育活動ボランティア依頼／25件
- ・ボランティア活動保険  
加入者数 1,568名
- ・事故対応 2件
- ・送迎保険  
加入件数 24件
- ・事故対応 0件
- ・ボランティア行事用保険  
加入件数 227件
- ・事故対応 2件
- ・福祉サービス総合補償  
加入件数 27件
- ・事故対応 2件
- ・使用済み切手の収集／22件
- ・プルタブの収集／32件
- ・移動介助ボランティア養成講座  
受講者 11名



◇民間助成事業（愛のともしび募金等）に関する情報提供  
 (3) まちづくりセンターを拠点とした地区社協などの地域組織活動の充実

◇地区社協連絡会及び情報交換会の開催（2回）  
 ◇小地域福祉活動計画策定モデル事業

◇湯里地区社会福祉協議会  
 ◇生活支援体制整備事業

・訪問地区数 23地区  
 ・訪問回数 716回

◇生活支援コーディネーター情報交換会等の開催

◇地区協議体・生活支援コーディネーター研修

・参加者 35名  
 ◇移動・外出支援に関する地域活動助成事業

・実践地区（志学、北三瓶）

◇生活支援に関する地域活動助成事業

・実践地区（久手、井田、馬路）  
 ◇子育て支援団体連絡会への支援

（子育て支援団体連絡会の開催）  
 ・実施回数 2回

・サロン団体 28名、行政 10名  
 ◇子育てサロン交流会の開催

・参加者 30組62名  
 ◇子育てサロン訪問

・訪問回数 7回（7サロン）  
 ◇シニアクラブ活動への支援

◇福祉バス運行事業  
 ・運行回数 26回

(4) 地域の居場所づくり  
 ◇地域介護予防活動支援事業

・介護予防活動実施団体 129団体

①ふれあいいきいきサロン・介護予防活動実施団体交流会

・参加者 87名

②元気づくりプログラム研修事業  
 ・延べ参加者 94名

③活動団体への訪問指導  
 ・訪問回数 延べ29回

◇ふれあい・いきいきサロンづくり活動推進事業

・サロン総数 110サロン

◇健康・生きがいづくりフェスティバル開催支援

・実施団体 5団体  
 ・大会参加者 230名

◇講師等派遣事業  
 ・派遣回数 59回

◇参加支援事業

・参加に関する相談の受付 14件  
 ◇青少年の居場所 ゆきみーる運営等検討会への参画

(5) 地域づくりを進める人材の育成  
 ◇福祉委員活動推進事業

・申請地区 16地区

(6) 民間企業・団体や社会福祉法人との協働と地域貢献の促進

◇社会福祉法人地域公益活動推進事業

・「大田市社会福祉法人連絡会」役員会及び総会を開催

(7) 寄附文化の醸成

◇香典返し 299件

◇善意寄付 16件  
 ◇赤い羽根共同募金運動の推進

・助成金配分実績額 5,859,032円

(8) 要配慮者支援へ向けた地域での体制づくり

◇高齢者の見守り活動に関する協定に基づく連携

・緊急対応件数 0件

(9) 人権施策の推進

◇大田市人権尊重のまちづくり審議会への参画

◇大田圏域女性に対する暴力対策関係機関連絡会への参画

(10) 多文化共生社会の実現

◇在住外国人共生市民の会との連携

**基本方針2** 包括的な支援体制の構築

(1) 分野を超えた相談支援体制の構築

◇ふくしよろず相談 新規相談受付件数 399件

処理状況 課題解決／100件

関係機関・制度につないだ／164件

中断等／2件

継続対応中／133件

在住外国人への相談対応 支援中 2世帯

◇法テラス島根地方協議会及び大田市連絡会議への参画

(2) 重層的な支援体制の整備

◇多機関協働事業  
 ・大田市地域福祉推進支援機関実務者会議の開催

①個別会議 開催実績 3回／3事例

②全体会議（毎月1回定期開催）

・開催実績 11回

◇アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

・関係構築に関わる支援

①相談対象者とのつながりづくり

・同行支援 132件

・訪問 20件

②民生委員児童委員との関係構築

・各単位民生児童委員協議会定例会への出席 53回

③制度の狭間にある生活課題の対応

◇社会とのつながり応援事業「こねくと」

・開催実績 52回

◇同行支援事業

・支援対象者 11名

・新型コロナウイルス感染者等生活サポート事業の実施

◇日常生活自立支援事業の推進

・利用件数 85件

・新規利用件数 9件

・終了件数 15件

◇生活支援員研修会  
 ・参加者 13名  
 ◇法人後見事業  
 ・法人後見運営委員会の開催  
 開催回数 2回  
 受任件数 6件  
 ◇大田市成年後見支援センター事業  
 ①運営委員会の開催 2回

**基本方針3** 福祉サービスが利用しやすい環境づくり

② 市民後見人養成講座の開催

・参加者 19名

・バンク登録者 12名

③ 市民後見人の推薦 7名

④ 成年後見制度・私のおんしんノート出前講座の開催

・開催回数 1回

・参加者数 30名

⑤ 大田市成年後見支援センター相談件数及び専門職候補紹介数

・相談件数 19件

・専門職候補紹介件数 8件

◇ 大田市障がい者自立支援協議会権利擁護部会への参画

(2) 成年後見制度の利用促進

◇ 中核機関への参画

・松江家庭裁判所との情報交換会 1回

◇ 社協だよりの発行 6回

◇ ホームページによる活動紹介・情報提供

◇ フェイスブックを活用した情報の発信

・掲載回数 55回

◇ ケーブルテレビを活用した事業広報

◇ こころのたより発送事業

・対象世帯 1,862世帯

### 基本方針4

生活課題の解決に向けた取り組みの推進

(1) 子育て・子育て支援の充実

◇ 子育てサロンへの情報の提供等の活動支援

◇ 大田市保健対策推進協議会母子保健専門部会への参画

◇ 大田市子ども・子育て支援推進会議への参画

(2) 障がいのある人が地域で安心して暮らせる社会の実現

◇ 障がい者社会参加促進事業

・重度身体障がい者移動支援事業 実利用者数 13名

・年間延べ利用者数 126名

・年間稼働日数 111日

◇ ボランティア延べ活動者数 220名

◇ 点字・声の広報の発行

① 音訳広報の発行

・広報おおだ 年12回

・市議会だより 年4回

・社協だより 年6回

・身障の友大田 年2回

・暮らしの情報、健康診断や不燃物収集等の年間予定表 年1回

② 点字広報等の作成

◇ 福祉機器の貸し出し

・貸出件数 13件

◇ 障害者就業・生活支援センター事業連絡会議への参画

◇ 大田市障がい者自立支援協議会への参画

◇ 大田・邑智地域生活支援会議への参画

(3) 健康づくりと介護予防の推進、認知症対策

◇ 大田圏域健康長寿しまね推進会議への参画

◇ 大田市生涯現役・いぶし銀が支えるまちづくり推進協議会への参画

(4) 生活困窮世帯への自立に向けた生活支援の充実

◇ 生活サポートセンターおおだ自立相談支援事業

① 新規相談者数 105名

② 新規相談内容(困りごと) 230件

③ 緊急一時的支援の実施状況 180件

④ 自立支援計画(プラン)策定及び評価状況

・支援調整会議を毎月1回開催

・支援決定、確認件数 47件

・就労支援対象者数 5名

・プランの評価実施件数 36件

⑤ 支援状況

・相談支援延べ件数 2,601件

⑥ 研修及び会議

◇ 家計改善支援事業

・支援プラン策定件数 13件

◇ 就労準備支援事業

・利用人数 1名

◇ 職場体験、職場見学協力事業所の開拓協力事業所 2社

◇ 一時生活支援事業

・利用人数 1名

◇ 地域における生活困窮者等のための共助の基盤づくり事業

・水上地区(通院、買い物支援)

・湯里地区(買い物ツアー)

・福波地区(買い物ツアー)

◇ アウトリーチ等の充実による自立相談支援機能強化事業

◇ 資金貸付事業

① 生活福祉資金貸付

・貸付相談支援延件数 754件

・貸付決定数 95件

・貸付金額 35,051,000円

② 民生融金貸付(生活資金・緊急現金)

・貸付実績 20件

・貸付金額 400,000円

◇ フードバンク事業(寄付食料品備蓄による困窮者への食料支援)

・食料寄付件数 94件

・食料支援件数 177件

◇ 物品貸出事業

・貸出し利用者数 2名

◇ 学生服等活用事業

・寄付者数 6名から15品

・提供世帯数 5世帯

◇ 住居確保要配慮者の住居支援

・居住支援 4名

・担保不動産競売事件への対応 1件

・一時生活支援事業の利用 1名

◇ 大田市要保護児童対策地域協議会への参画

◇ 大田地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会への参画

◇ 制度の狭間にある生活課題への対応

(5) 再犯防止施策の推進

◇ 関係機関と連携した更生支援

・更生支援対象者 4名

(6) 社会的取組みによる自死対策の推進

◇ 大田市保健対策推進協議会自死対策専門部会への参画

◇ 住宅・生活環境の整備

◇ 島根県西部地震復興支援活動推進事業

・交付件数 2件

### 基本方針5

安心して暮らし続けることができるまちづくり

(1) 住宅・生活環境の整備

◇ 島根県西部地震復興支援活動推進事業

・交付件数 2件

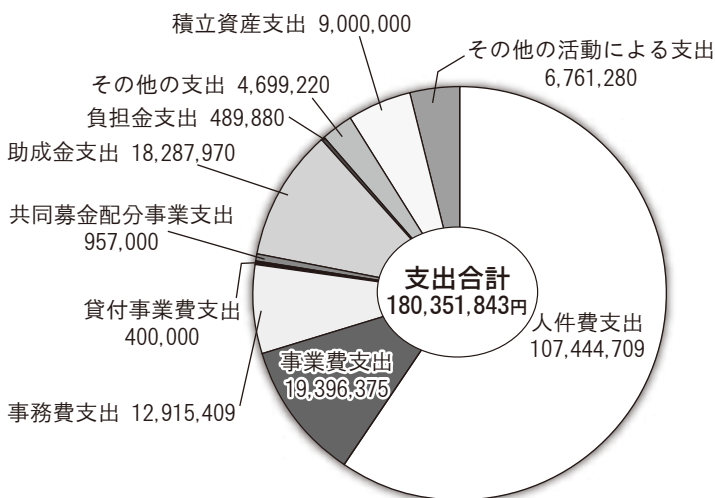
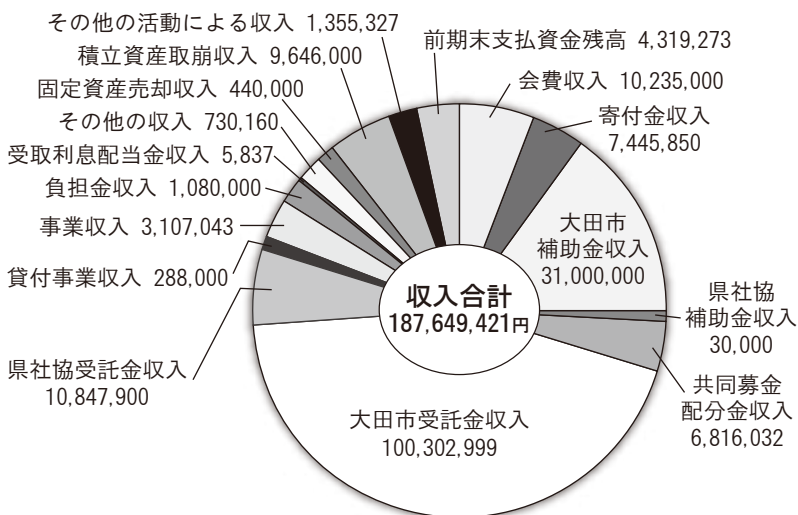
- ◇(2)移動手段の確保
- ◇大田市公共交通対策協議会への参画
- ◇(3)防災・防犯体制の充実
- ◇防災・減災推進事業
  - ・島根県西部地震からの3年フォーラムの開催
  - ・参加者 27名
- ◇しまね災害福祉広域支援ネットワークへの職員の登録及び派遣
- ・福祉専門職登録者数 5名
- ◇大田市ボランティアセンターにおいての被災者支援活動
  - ・相談件数 29件
  - ・活動件数 31件
  - ・活動日数 29日
  - ・延べ活動者 192名
- ◇被災地支援活動の推進（ひよりの会）
  - ・送付先 熊本県
  - ・八代市地域支え合いセンター
  - ・発送数 280セット
- ◇島根県・市町村社会福祉協議会災害時支援協定に基づく被災者支援活動
  - ・雲南市災害ボランティアセンターへ職員派遣

【福祉団体等事務局の受託】

- ◇大田市身体障がい者福祉協議会
- ◇大田市障がい者関係団体連絡協議会
- ◇大田市民生児童委員協議会
- ◇日本赤十字社島根県支部大田市地区
- ◇大田市共同募金委員会

## 資金収支決算

期間：令和3年4月1日から  
令和4年3月31日まで  
(単位：円)



当期末支払資金残高 7,297,578円

## 財産目録

令和4年3月31日 (単位：円)

資産・負債の内訳	金額
○資産の部	
流動資産	18,568,986
現金	2,250
普通預金	18,163,904
事業未収金	353,310
未収補助金	0
前払費用	49,522
固定資産	184,746,794
基本財産	3,000,000
定期預金	3,000,000
その他の固定資産	181,746,794
車輛運搬具	4
器具及び備品	1,038,046
民生融金貸付金	1,197,000
退職手当積立基金預け金	73,909,419
地域福祉推進活動積立金	102,089,000
財政調整積立金	479,115
災害復興支援積立金	3,000,000
その他の固定資産	34,210
資産の部合計	203,315,780

資産・負債の内訳	金額
○負債の部	
流動負債	11,271,408
事業未払金	7,691,802
未払費用	2,991,607
預り金	587,999
固定負債	73,909,419
退職給付引当金	73,909,419
負債の部合計	85,180,827
差引純資産	118,134,953





## 災害ボランティアセンター 立ち上げ訓練 IN 大田

参加者  
募集中!

9月11日(日) 10:00~16:00  
仁摩農村環境改善センター

阪神・淡路大震災以後、被災地において支援活動を展開させることが一般的となった「災害ボランティアセンター」。いざという時に速やかに災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者支援活動が行えるよう、訓練を実施します。「協働」がキーワードとなる災害ボランティアセンター。皆さまのご参加、ご協力をお待ちしています。

【対象者】 島根県に在住の方  
【定員】 70名  
【参加費】 無料  
申込は下記連絡先へご連絡  
いただくかこちらから⇒



申込締切 8月24日(水)

## 島根県西部地震から 4年フォーラム ～地域サロンで防災・減災～

島根県西部地震や豪雨、台風による被災の経験を生かしたコミュニティの形成から地域力の向上を図るため、大田市の現状を共有し取り組みを推進するとともに被災の経験を風化させないことを目的として「島根県西部地震から4年フォーラム」を開催します。



11月6日(日)  
13:30~16:00  
市民センター4階

【対象者】 大田市在住の方  
【定員】 50名程度  
【参加費】 無料  
下記連絡先まで電話またはメール、LINEにて申込み。  
LINEでお申込みの際は「フォーラム」と送信してください。

申込締切 10月26日(水)

申込  
連絡先

大田市社会福祉協議会(ボランティアセンター)

電話:0854-82-0091 FAX:0854-82-9960 mail:kotani-t@fukushi-ohda.jp  
コミュニティソーシャルワーカー 小谷



公式LINE

## 移動介助ボランティア養成講座を開催します!

本講座では、肢体不自由・視覚障がいに関する理解を深めるとともに、移動介助に必要な知識と技術について、実技を交えながら学びます。

10月1日(土) 大田市民会館第1会議室

9:30~12:00 車いす移動介助ボランティア養成  
13:00~15:10 視覚障がい者移動介助ボランティア養成  
どちらか一方のみの受講も可能です。

【定員】 各講座20名程度(申込み順)

【申込み】 下記の申込先まで電話かFAXにてお申込みください。

申込締切  
9月21日(水)



申込  
連絡先

電話:0854-82-0091 FAX:0854-82-9960 (担当:大迫・大久保)

## リウマチ友の会「こだまの会」

～会員・ボランティアさん募集しています!～

私たちこだまの会は、リウマチ当事者6人、先生1名、ボランティアさん7人の計14人で、絵手紙づくりやリウマチ体操、七夕やクリスマス会といった季節の行事等を通し交流しています。

月2回の定例会では、コーヒーを飲みながら語り合う等和気あいあいとした雰囲気が流れています。私たちと一緒に活動して下さる当事者の方、活動をお手伝いして下さるボランティアの方を募集しています。見学からでも結構ですので、私たちと一緒に活動してみませんか?

【開催日時など】  
毎月第2・第4火曜日  
13:30~15:30  
(詳しい日程はお問い合わせください)

大田市民センター1階機能訓練室

問い合わせ先: 中田文子(82-0835) まで



THE GLOBAL GOALS

## 衣類ドライブ 第2弾

古着を回収し、  
無料バザーを開催します!

衣類の回収期間

10月3日(月)~14日(金)

バザー(無料)

10月24日(月)~28日(金)

【回収する衣類】

大人用衣類で、肌着、靴下、下着は未使用品、その他は洗濯済み衣類(シミなどの汚れ、破れ、寄れ、ほつれなどのあるものは回収していません)

【衣類を提供いただく方】

おひとり10品まで。期間中に社会福祉協議会(本所・各支所)までお持込みください。

【衣類の提供】

バザーにてお渡しします。(無料です)

期間中に大田市民センター1階和室にお越しください。(9:00~17:00)



## やさしい日本語講座 を開催します!

大田市にも多くお住まいの在住外国人。

「やさしい日本語」とは外国人等にも分かりやすいように、簡単にした日本語のことです。同じ街に住む住民として、「やさしい日本語」を学びませんか?

9/28水  
10:00~11:30  
(受付9:45~)  
大田市民センター4階  
軽運動室



【対象者】 大田市在住の方  
【定員】 40名程度  
【参加費】 無料  
電話またはメール、LINEにて申込み。  
LINEでお申込みの際は「日本語講座」と送信してください。

締切  
9月21日(水)

申込  
連絡先

大田市社会福祉協議会(ボランティアセンター)

電話:0854-82-0091 FAX:0854-82-9960 mail:kotani-t@fukushi-ohda.jp  
コミュニティソーシャルワーカー 小谷



公式LINE

# シニアクラブ 情報局

催し

お知らせ

募集

## 新役員決定のご報告

「ブロックの合併（西ブロック・三瓶ブロック）」「若手部・女性部の廃止（人員不足により）」「ふれあい部会の設立」等の新体制準備のため、役員改選を延期いたしておりましたが、6月23日に開催された理事会において、今期の役員が決定致しましたのでご報告致します。

### 大田市シニアクラブ連合会 役員名簿

任期：令和4年5月30日～令和6年5月29日

役職	氏名	所属クラブ	選出ブロック
会長	福田 幸司	久利町寿会	中央ブロック
副会長	藤間 不左光	双葉会	仁摩ブロック
	木村 繁	やすらぎ会	温泉津ブロック
	中村 隆文	久利町寿会	ふれあい部会
理事	川上 堅次	久手町寿会	東部ブロック
	廣山 勝秀	銀笑会	西部ブロック
	川村 梅樹	しあわせ会	温泉津ブロック
	持田 和美	朝栄寿会	仁摩ブロック
	工谷 彰	温泉津寿クラブ	ふれあい部会
	布下 久義	若水会	ふれあい部会
監事	毛利 諦善	大屋寿会	大田ブロック
	花田 主税	寿栄会	温泉津ブロック
	尾田 忠夫	白寿会	仁摩ブロック

## 新会長就任あいさつ

大田市シニアクラブ連合会  
新会長 福田 幸司  
(久利町寿会 会長)



このたび、役員任期満了に伴い理事会において、会長に推挙いただき引き受けることとなりました。コロナ禍をはじめ暗いニュースばかりの昨今、我々高齢者はストレスが溜まり大変落ち込んでいます。そのような中での会長職、責任と重大さを感じております。

人生100年時代を迎え、高齢者は年々増加傾向であり、取り巻く課題は山積するばかりです。この苦難を乗り越えるために、今までの豊かな経験と知識を出し合っ、会員相互の助け合いをはじめ、地域の皆さんと力を合わせて支え合うことが、大切であると考えます。人生に少しでも生きがいを感じることを願いながら、日々努力したいと思いますので、関係者の皆様にはご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 令和4年度「グラウンドゴルフ大会」ご案内

「令和4年度 グラウンドゴルフ大会ー県大会予選会ー」を下記の通り開催いたします。なお、県内及び市内の新型コロナウイルス感染状況によっては、中止とする場合があります。



日時：令和4年9月8日(木)

13:00 受付 13:30 開会

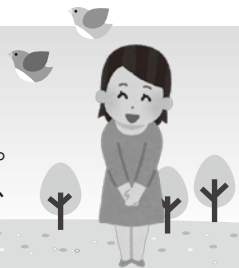
場所：大田運動公園 多目的広場(鳥井町)

(雨天時は事務局の判断により9月22日に延期)



## 島原麺(そうめん)ご協力のお礼

今年度も、ご協力いただき誠にありがとうございました。還元金につきましては、連合会の自主財源の一部として、各種事業の一助とさせていただきます。



ずっとつながる



(事務局)

大田市シニアクラブ連合会

〒694-0064 大田市大田町大田1128番地  
TEL 0854-84-0266  
FAX 0854-82-9960  
月曜日・木曜日 8:30~17:00(祝日休)

ホッとつたある



# ご寄付ありがとうございました

大田市の地域福祉のために有効に活用させていただきます

(令和4年6月・令和4年7月受付分順不同・敬称略)

※社会福祉法人への寄付は、個人は所得税法または租税特別措置法寄附金控除、法人は法人税法上の損金算入が出来ます

## ○香典返し寄付

大田 宮崎利津子 山田 大介  
川合 伊藤 昭子 吉田 卓也  
富山 張間 和子 松本 吉章  
波根 坂根 均 田村 秋年  
久手 清谷 光治 郷原 寿夫  
鳥井 渡邊 佳潤 平田 耕司  
静間 竹下 重晴 稗田 悦男  
五十猛 飯塚 重功 郷原 寿夫  
大屋 山口 英彦 郷原 寿夫  
久利 田中 稔子 郷原 寿夫  
大森 竹下 昌弘 郷原 寿夫  
大代 中垣 昌人 郷原 寿夫  
温泉津 山路 拓 郷原 寿夫  
仁摩 山内 周平 郷原 寿夫  
山根 眞理子 酒井 美鈴  
島田 信悟 堀江 広人  
橋坂 勝弘 大野 慎二  
天場 和喜 石井 一乘  
安野 祐貴 浅原 豊  
和田 真

## ○一般寄付

静岡県 和野 祐貴  
静岡県 天場 和喜  
社会福祉法人はなみずき会

以上、504,000円のご寄付をいただきました。また、古切手、プルタブも多数いただきました。

## ○食品・学生服等の寄贈

川合 囲茶会の皆さん  
五十猛 田中 淳子  
温泉津 恵瑠寺  
瑞泉寺仏教婦人会

生長の家白鳩会大田地区連  
東洋羽毛中四国販売(株)島根営業所  
他多数の方々にご協力いただきました。

## 救援金へのご協力

ありがとうございます

令和4年7月受付分(順不同敬称略)

## ウクライナ人道危機救援金

- ・大田市水道協会 会員一同
- ・大田浄化槽協会 会員一同
- ・県央管工事協会 会員一同

本会にお寄せいただいた救援金は、日本赤十字社を通じ、ウクライナでの人道危機対応及び避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動を支援するために役立てられます。

# 心のたより 発行事業

この事業は、大田市民生児童委員協議会との共催で、大田市内にお住いの75歳以上のひとり暮らしの高齢者の方、ご夫婦とも80歳以上の高齢者夫婦世帯等に、暑中見舞いをお届けすることで、声掛け・見守り等の安否確認を行う事を目的に実施しています。

宛名書きは、担当地域の民生児童委員さんにご協力いただきました。また、一言メッセージを書いて下さるなど、心のこもった「こころのたより」となっています。

ハガキを受け取られた方からは、さっそくお礼の電話やハガキをいただいております。



## 編集後記

令和3年度の決算も無事に終わることが出来、今回事業報告と決算書を掲載させていただきました。皆さんからいただいた会費や寄付金など収支の状況や、実施した事業をお知らせしておりますのでご覧いただきたいと思っております。

長年経理担当をしてきましたが、年度を正確に終えるという決算は、何回経験しても緊張します。この緊張する気持ちを無くすることなく、これからも慎重に仕事に取り

組んでいこうと気持ちを新たにしています。令和3年度も、新型コロナウイルス感染症感染防止のために、いろいろな制限をする1年となり、年度当初に計画した事業もやむを得ず中止したものもありましたが、感染防止対策に努めながら、職員はみなそれぞれの役割を誠意を持って取り組みました。

令和4年度も引き続き皆様のご協力をいただきながら職員一同頑張りますので、よろしく願います。

(ふ)